

科目名	生涯発達看護学(老年)			ナンバリング	PEG224	授業形態	講義
対象学年	1年	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	1単位
代表教員	橋本知子	担当教員					

授業の概要	看護の対象としての人間をライフサイクル上の連続性においてとらえ、発達段階の特徴を発達課題を明らかにする。とともに、健康面医着目した対象の捉えかたについて学修する。ここでは成人期を経てきた存在としての高齢者について、その健康特徴をを人体の構造と機能のメカニズムや心身発達論に基づいて、論理的・科学的にとらえ、発達段階の特徴からみた健康課題を理解する。また、身近な高齢者を具体例として、実践的にとらえる視点を明確化し、その健康特性について理解を深める。
到達目標	1. 高齢者を人間発達学の視点から身体的・心理的・社会的「存在としての統合体として説明することができる。2. 高齢者は生涯発達し続ける人間として存在し、編かし続ける過程にあることを理解する。3. 変化の過程においては高度の分化や複雑さ、機能の効率性を確立して行くことに加え、構造と機能の減退を含む過程であることを説明できる。4. 高齢者の健康的特徴を捉えてアセスメントすることができる。
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	講義の中で提示した重要な概念は自己ノートに整理し評価レポートとして説明の応えられる様にしておく。
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】
	<input type="radio"/> 1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。
	<input type="radio"/> 2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。
	<input type="radio"/> 3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。
	<input type="radio"/> 4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。
	<input type="radio"/> 5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 看護の対象としての老年期にある人の発達段階を挙げることができる。2. 老年期にある人の生活を人体の構造と機能の面・心身発達の面から捉えることができる。3. 発達段階特性からみたその健康問題を老年症候群として挙げることができる。4. 高齢者のヘルスプロモーション活動とその支援について述べるができる。5. 身近な高齢者を具体例として、発達段階特性からみた健康問題についてレポートできる。6. 老年期にある人の健康特性と看護の視点について説明できる。	1. 看護の対象としての老年期にある人の発達段階を説明できる。2. 老年期にある人の生活を人体の構造と機能の面・心身発達の面から説明できる。3. 発達段階特性からみたその健康問題を老年症候群として挙げて説明できる。4. 高齢者のヘルスプロモーション活動とその支援について説明できる。5. 健康段階特性からみた看護問題に潰え具体例を通して課題を説明できる。6. 老年期にある人の健康特性と看護の視点について説明できる。

成績評価観点	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					50%
小テスト・授業内レポート	○	○					20%
宿題・授業外レポート	○	○	○	○	○		10%
授業態度・授業への参加			○	○	○		
発表(プレゼン)	○	○	○	○	○		20%
出席				○			欠席は減点となる ことがある

課題、評価のフィードバック	1. 課題レポート類の評価・返却は原則としてmanab@上で行う3. 期末試験の解答用紙は、学生からの要請があればいつでも開示できるように準備しておく
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	科目の位置づけのオリエンテーション、課題の提示、人間発達学の定義・関連用語	生涯発達看護学の目的と学習方法・評価について概説する。生涯発達看護の観点から看護の対象としての老年位期にある人概説する。課題の提示:	DP-1, 2, 3, 5
	第2回	高齢者の定義・理論、発達に影響を及ぼす因子	発達に影響を及ぼす因子について知る。また高齢者の定義、発達理論について概説する。	DP-1, 2
	第3回	老年期にある人の生活と健康のアセスメント	高齢者のヘルスアセスメントの意義・日常生活活動評価・ICF概念、CGA概念等に関連する評価について概説する。	DP-1, 2, 3, 5
	第4回	老年期にある人の健康的特性①	老化と加齢の概念・生物学的理論、心理学的理論、社会学的理論、サクセスフルエイジング、形態学的・機能的側面の視点から概説する。	DP-1, 2
	第5回	老年期にある人の健康的特徴②	心理的側面から知識・記憶の発達、社会学的側面の発達・老年期とし・死に対する見方について概説する。	DP-1, 5
	第6回	老年期にある人の健康的特徴③	パーソナリティに変化を与える要因について概説する。	DP-2, 3, 5,
	第7回	高齢者のヘルスプロモーション活動	高齢者のヘルスプロモーションの定義。その5つの活動と支援について、また、7つのロコチェック、認知症予防、MCAについて概説する。	DP-1, 3, 5
	第8回	老年期における健康特性と健康モデル	健康モデル、Wellness理論、老年症候群、ブルレイ、サルコペニア、要介護の要因、筋肉量の減少、低栄養、QOL、Productive Agingについて概説する	DP-1, 2, 3, 5
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
		試験		
授業の進め方	manaba@上の資料を予習し授業終了後は復習をする。課題は初回の講義の時に提示する。			
授業外学習の指示	①講義当日の内容をノートに整理し復習を行う②manab@に掲載されている次回の資料を読んでおく (授業外学習時間: 毎週 60 分)			

教科書	ナーシンググラフィカ高齢者看護学①、看護のための人間発達学第5版(医書院)
参考書	老年看護学 医学書院、
参考URLなど	
その他	